

(対象名)

消防計画

年 月 日

1. 自衛消防隊を次のように設置する。

自衛消防隊長
(経営者又は防火管理者)

(各階勤務者)

- 1 F 名
- 2 F 名
- 3 F 名
- 4 F 名

- ・119 通報を行うとともに、建物内にいる者への連絡。
- ・水バケツ、消火器による初期消火の実施。
- ・避難は早期に開始。

2. 避難計画の概要及び避難誘導は次のように行う。

二方向避難の確保

(階別)	屋内階段	屋外階段	バルコニー	救助袋
1 F						
2 F						
3 F						
4 F						

※避難経路を示す図面は別紙添付。

避難通路等の確保

法令の定めるところにより、避難通路等の確保は次による。

- ① 階段、通路等には物品を置かない。
- ② 避難経路は常に整理整頓し、避難の支障にならないようにする。
- ③ 非常口には施錠しない(施錠する場合は、容易に開放できる構造とする)。
- ④ 防火戸は正常に作動するよう平素から機能保持に努める。
- ⑤ 防火戸の前には物品等を置かない。また、クサビをしない。
- ⑥ その他必要事項については、社内(店)規則で定める。

〇〇〇〇〇〇を実施

避難及び避難誘導

- ① 火災の発生を大声で知らせる。
- ② 物品持ち出しに気をとられない。
- ③ 一度避難したら再び出火建物に戻らせない。
- ④ 落ち着いて避難路を考える(日ごろから避難経路を確認しておくことが大切です)。
- ⑤ 煙による被害を防ぐため必要に応じて、タオル等を活用する。
- ⑥ いたずらに騒ぎ立て、無秩序な行動にならないようにする。
- ⑦ 逃げ遅れの者がいないか、人員の確認をする。

〇〇〇〇〇〇〇を実施

通報連絡

- ① 非常ベルを鳴らす。
- ② 119 通報する。
- ③ 社内(店) 電話が使えない場合の通報方法を考えておく。
- ④ 通報内容は「火事です。〇〇市〇〇町〇丁目〇〇ビルです。大きく燃えています。(少し煙がでています)」とする。

〇〇〇〇を実施

3. 消火活動は次のように実施する。

消火活動

- ① 大声で皆に知らせる。
- ② 叩き消し、水バケツ、水道ホース等を使用する。
- ③ 消火器を使用する。
- ④ 火を見てもあわてず落ち着いて行動する。
- ⑤ 天井に燃え移ったら初期消火を中止して避難する。

〇〇〇〇〇〇を実施

消防隊の誘導

- ① 消防車両を誘導する。
- ② 消防隊員を誘導する。
- ③ 消防隊員に、出火場所、危険物品、避難状況等消火活動上必要な情報を伝える。
- ④ 消防車が進入できるよう道路等の雑品等の整理
- ⑤ その他

〇〇〇〇〇〇を実施

